

1. 委員会を開いた年月日及び場所

平成27年9月14日 午前9時30分開議
小値賀町役場 3階第1会議室

2. 出席した委員の氏名

委員長	土川重佳
副委員長	松屋治郎
委員	宮崎良保
委員	横山弘藏
委員	末永一朗
委員	今田光弘

3. 欠席した委員の氏名

なし

4. 出席した委員外議員の氏名

議長	立石隆教
議選監査委員	浦英明

5. 説明のため出席した者

副町長	谷良一
総務課長	中川一也
住民課長	吉元勝信
福祉事務所長	植村敏彦
産業振興課長	西村久之
産業振興課理事	中村慶幸
産業振興課理事	永井克宜
建設課長	蛭子晴市
診療所事務長	近藤進

6. 職務のため出席した者

議会事務局長	尾野英昭
議会事務局書記	岩坪百合

7. 付託を受けた事件の件名

議案第53号 平成26年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について

平成26年度小値賀町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算
平成26年度小値賀町後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算
平成26年度小値賀町介護保険事業特別会計歳入歳出決算
平成26年度小値賀町渡船事業特別会計歳入歳出決算
平成26年度小値賀町簡易水道事業特別会計歳入歳出決算
平成26年度小値賀町下水道事業特別会計歳入歳出決算
平成26年度小値賀町国民健康保険診療所特別会計歳入歳出決算

委員長（土川重佳） おはようございます。

ただいまから、11日に引き続き決算特別委員会を開会する。

本日の議題は、特別会計7会計についてである。

これから質疑を行う。

国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算について、歳入から款をおって、ご質疑願う。

事項別明細書 171頁から 199頁。

第1款・国民健康保険税

松屋委員

委員（松屋治郎） 収入未済額が昨年もかなりあったが、今年もかなりの数字だと思うが、徴収方法は何か検討しているのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 国保税については、少しずつ未納が増えているという状況にある。我々としても窓口に来てもらい、「これだけ未納がありますよ」という説明をしながら、できるだけ早めに現年度分は納めてくださいという相談をしている。滞納分については、昨年は個別台帳を整備して、納税相談を実施し、計画的な納税に結びつけようとしているが、やはり何件かが大きな滞納がある。11日の町税等の滞納対策の折も、若干説明したが、国保税の多額の滞納者の中に高齢者とか身体障がい者といった感じで、納付が難しい方も何名かいるので、そういう方については執行停止といった法令に基づいた手続きをしながら対応していきたいと思うし、これ以上未納が増えないように課内でもいろいろ検討を重ね、未納が出たら早いうちに対応するという方針で考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 同じく未収額で質問する。今日1日よろしく願います。昨年の答弁で、1年に333万1,000円程度が増額するということがあった。その中で、5年を経過したものはグレイゾーンで、今後調査したいという答弁だったが、そういった調査はしているのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 委員が言うように、昨年度もこういう多額の滞納があるということで、抜本的な調査をしながら対応するという答弁をした。その1つとして、グレイゾーンというか、そういう方が何人かいると説明したが、昨年に国保連合会の滞納のアドバイザーに指導をもらい、やはりグレイゾーンと我々が位置づけている方については、収納は難しいところがあるんじゃないかという回答をもらったので、今年度、27年度、そういう方については不納欠損という形で整理させてもらおうと思っている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 関連質問になるが、滞納処理は少しずつ解決していく感じだが、過年度を納めても、まだ次年度が増えてくるようなイタチごっこみたいな感じになっていると思うので、前に特別委員会をした時に、どうしても言っても回収できない時は県の職員に

依頼するという話もあったが、その辺はどうなっているのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 委員が言うような状況で、我々も注意しなければならないと思っている。この平成 26 年度の実績を見てもらえれば分かると思うが、滞納繰越分についてはかなり上がっているところがある。逆に現年度分が若干落ちているところがあり、内部で検討したところ、やはり滞納分のほうに力を入れすぎて、現年度分の把握が不十分だったという反省をしている。27 年度においては、基本的には委員が言うように、現年度分の未納を極力少なくするというので、滞納の連鎖を断ち切りたいという考えで、今後やっていく必要がある。特別委員会の中でも話があったが、県の回収機構に依頼して、搜索といったことについても検討する必要があるということで話をしていたが、そうするためにちゃんとしたデータを用意しなければならないということで、事務局のほうからも連絡があった。今年 10 月に予定しているが、そこら辺の書類、データを整理しながら、できたら早いうちに、滞納が多くてこちらの呼びかけにも反応がないという方を何件か搜索に結び付けたいと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 2 款・使用料及び手数料

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 3 款・国庫支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 4 款・療養給付費交付金

横山委員

委員（横山弘藏） 当初予算から補正予算が 825 万 3,000 円増額になっているが、これの主な原因について知らせて欲しい。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 平成 26 年度の国民健康保険については、やはり医療費が昨年度に比較すると伸びている。その分に関して、比例しながら療養給付費交付金が増額されるというふうになっているので、そのために 800 万程度増えたという状況だ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） それは分かるが、例えばどういった患者というか、小値賀町が高齢化したために増えているのか、何か病気が流行って増えたのか。その辺は分かるのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 平成 26 年度は、全体的に件数としては 1 万 598 件の受診がある。全体の給付費として 3 億 6,600 万程度ということになっている。昨年度が、件数が 1 万 712 件で、少し今年度は件数は減っているが、昨年度の費用額が 3 億 4,800 万ということで、金額的に 1,800 万円ほど増えている。これを分析すると、入院が昨年度と比較して伸びており、そういう部分で少し長期の入院患者、それと高齢者よりも 60 歳代といった患者の入

院が増えているという状況で、全体に医療費を押し上げている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・前期高齢者交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・県支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第7款・共同事業交付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・財産収入

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第9款・繰入金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第10款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第11款・諸収入

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出に移る。

第1款・総務費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第2款・保険給付費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・老人保健拠出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第4款・前期高齢者納付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・後期高齢者支援金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・介護納付金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第7款・共同事業拠出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・保健事業費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第9款・特定健康診査・特定保健指導費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第10款・基金積立金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第12款・諸支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第13款・予備費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） これから歳入歳出全般について、ご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

30:05

後期高齢者医療事業特別会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款をおって、ご質疑願う。

事項別明細書 301 頁から 309 頁まで。

第1款・後期高齢者医療保険料

宮崎委員

委員（宮崎良保） 収入未済額が 31 万 2,700 円上がっているが、内容の説明を。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 31 万 2,700 円は全部で 5 人分で、19 件分だ。この中には 2 人が、国民健康保険の時に滞納だったのが、そのまま後期高齢の医療にずれ込んだということで、この方たちがちょっと厳しいかなと思うが、滞納であるので、税金と同じような考え方で対応して徴収につなげたいと考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 5 名の 19 件ということで発生しているが、今後、掛け金も上がる予想があり、また 7 割、8 割、9 割の補助が撤廃されるという予想もある。そういった関係でこれがまたどんどん増えてくるんじゃないかと思うが、その辺の対応はどう考えているか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 保険料については、28 年、29 年度がまた次の期の保険料ということで、今後、検討されてどういう金額になるかということがまだ未定だが、県の広域連合としても、できるだけいろんな基金など繰り入れをして、保険料が急激な上昇にならないようにと考えているようで、本町もそのようにしてもらえればと考えている。それから軽減措置について、なくなるという話の件だが、平成 29 年度から軽減等特別措置というのがなくなり、本則どおりの取り扱いになる予定だ。この主な内容としては、今は所得がかなり低い方については、本来 7 割軽減する部分を 9 割軽減と、8.5 割軽減という措置があり、これを 1 件、1 件あたるのは難しいが、全国平均で出ている数字だと、9 割軽減の場合は月に 360 円ぐらいだ。これが 7 割の本則どおりの軽減になると 1,090 円で、約 3 倍ぐらいに上がるという計算が出ている。それから 8.5 割は国平均で 540 円という数字が出ており、

これについても7割軽減という本則に戻すと1,090円ということで、ここでも約2倍の保険料が考えられる。本町では9割と8.5割軽減者の該当が68%だ。9割軽減の中には社会保険の扶養者である方が後期高齢に移行した時にも5年間は軽減措置があるということで、そちらの数も含めているが、こういった方々が本則どおりになると、負担増ということが考えられる。本町としても、先の広域連合の幹事会というのがあるが、担当課長の会議の中でも小値賀町としては、前の均一保険料の制度を再開してもらえないかという要望もしたが、法律的にはそういうのは、一応、考えられないということだったので、こういうことに関してもいろんな、国のほうも激減緩和の対策というのを検討中であるようだが、町としても町の考え方というのを広域連合には示す必要があると考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 68%の人が該当するということで、3倍になるということで非常に懸念しているが、本日は決算なので深追いはしないが、やはり今からきちっとした対応をしていかんと、来年以降、これを撤廃したら相当な額の未済額が発生するのではと懸念するところなので、十分に注意していただきたい。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 委員が言う部分に関しては、十分に我々も考慮しながら対応する必要があると考えているので、広域連合との話し合いが、平成28年度の保険料をどうするかという会が、今後設けられるので、そこでもそういう話を町として意見を出していきたい。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 同じ質問だが、これは時効が2年という短い期間になっているので、滞納者の中に時効に近い人がいるのかいないのか。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） 言うように時効が2年だ。なので、平成26年度に未納となった人はもう既に1年近くなるということで、対応を全くしなければ、あと1年で時効になるということだ。事務局としては、こういう人に窓口に来てもらい、納税相談をして分納誓約という処置を今しているのですが、こういう方が時効にならないように事務局としても適正な対応をとっていきたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第2款・使用料及び手数料

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・寄 附 金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第4款・繰 入 金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・諸収入

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出に移る。

第1款・総務費

宮崎委員

委員（宮崎良保） 保健事業費で伺うが、この中に、医療資源が限られた地域が実施する保健事業委託の181万7,000円入っているが、内容の説明を。

委員長（土川重佳） 住民課長

住民課長（吉元勝信） この制度については、ご承知のように、不均一保険料という制度がなくなったために、それに代わる町の後期高齢者に対する支援というような事業で、本町としては、一般会計で行っている高齢者の保健事業をこちらに移行して、医療資源が限られた地域が実施する保健事業という形に転換しようということで、昨年度行った。内容は、インフルエンザの予防接種、特定検診で行っているエコー検査、それから町単独で行った肺炎球菌の予防接種のワクチンの助成、そういった諸々を実施し、総額が181万7,000円になった。因みにインフルエンザは610人、エコーは138人、肺炎球菌は国の予防接種法による定期予防接種というのもあったので、今回は少なくとも20人ぐらいだったと思うが、そういう部分の保健事業を実施した。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第2款・分担金及び負担金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・諸支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） これから歳入歳出全般について、ご質疑願う。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

しばらく休憩する。

45:52

（担当課、入替）

— 休憩 午前 10時 14分 —

— 再開 午前 10時 24分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

介護保険事業特別会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款をおって、ご質疑願う。
事項別明細書 275頁より 293頁。

第1款・保 険 料

今田委員

委員（今田光弘） 収入未済額だが、これを徴収するような努力をしていると思うが、説明を。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 一応、通知を出したりとか、直接訪問して納入のお願いをしている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） この収入未済額が発生する主な原因について説明を。大体お年寄りなので、なかなか、収入未済額が発生する、お年寄りの理解不足というのもあると思うが、その辺をよろしく願います。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） この未済額については、現年度分で10人、過年度分で7人ぐらいいるが、とりあえず、先程言ったように通知等でお知らせはしているが、委員が言うようになかなか理解しづらいところがあるのかと思っている。未済額が発生する理由としては、基本的に介護保険料は、年金を貰っている人たちは年金から特別徴収ということで、直接年金から引かれることになっているが、制度のはざ間というか、介護保険に該当した時に、若干、年金徴収じゃなくて普通徴収とうことで納付書で納めてもらうことになるが、その納付書発行の折の説明文書等が、少し高齢者には理解しづらい点があるとするならば、こちらのほうでも中身を検討して対処していきたいと思う。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） ということは、これからは減る方向にあると考えていいか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） おっしゃるとおり、減るよう努力していきたい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 滞納が発生したことはよく分かる。そういうことで。それで、お年寄りというのはとにかく、文字を読めない、小さい字は特に読めない。そういう声をよく聞く。おぢか新聞にしても議会だよりにしても、読めないという人はよく聞く。相手の状態をよく理解した上で、お年寄りには特に分かりやすい説明書を作ってもらいたい。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） おっしゃるとおり、分かりやすい文面を検討し、そういう対応を取りたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・使用料及び手数料

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第4款・国庫支出金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第5款・県支出金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第6款・支払基金交付金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第7款・繰入金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第8款・財産収入

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第9款・諸収入 横山委員

委員(横山弘藏) 4目の男の料理教室個人負担金。この活動状況について報告を。

委員長(土川重佳) 福祉事務所長

福祉事務所長(植村敏彦) 8月から3月までの間に8回ほど開催しており、延べ71人が参加している。1回あたり8人程度の参加だ。

委員長(土川重佳) ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第11款・寄附金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(宮崎良保) 第12款・繰越金

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 歳出に移る。

第1款・総務費 横山委員

委員(横山弘藏) 3項、1目の介護認定審査会費について。当町では毎年どのくらいこの審査会に上がっているのか。その数字を知らせて欲しい。

委員長(土川重佳) 福祉事務所長

福祉事務所長(植村敏彦) 新規の認定と更新認定含めて、大体年間200件程度になっている。

委員長(土川重佳) 横山委員

委員(横山弘藏) 新規の介護認定はどのくらい発生しているのか。

委員長(土川重佳) 福祉事務所長

福祉事務所長(植村敏彦) 40件となっている。

委員長(土川重佳) ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第2款・保険給付費 横山委員

委員(横山弘藏) 保険給付費の大幅な補正額の主な原因についてお知らせを。

委員長(土川重佳) 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 補正で 2,700 万程度落としているが、当初、介護サービスの給付費を算定した折には、前年度の実績を参考に大体 26 年度はこのぐらい伸びるだろうということで、当初上げていたが、何ヶ月か経過状況を見て、前年度程度ぐらいに落ち着くんじゃないかということで、とりあえず 2,700 万円ほど落としている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 補正でかなりの金額を落として、今の説明で分かるような分らんよなところがあるが、その割にはまた不用額も約 1,900 万上がっている。この不用額も補正した割には結構多いと思うが、途中で補正できなかったものか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 言うとおりの通り、不用額も 2,000 万ほどあるが、保険給付費なので、動きが読めない部分がある。そういうことで、この程度は範囲内かなと思っている。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 5 款・地域支援事業費

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 5 目の委託料、13 節。食の自立支援事業（一般高齢者の配食サービス）の状況について説明を。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 実施日数が年間で 205 日、配食者数が 127 人、配食数が 1,059 となっている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 6 款・基金積立金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 7 款・諸支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） これから歳入歳出全般について、ご質疑願う。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 介護給付金について伺う。

成果報告書の 40、41 頁。居宅系サービス費、介護給付についても予防給付についても大幅に減少している。昨年、計画費で 21% 下回っているということだが、なぜ下回ったのか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 介護保険の介護認定者の数だが、平成 25 年度で 216 人、要支援 1 から要介護 5 までだが、26 年度で 219 人ということで、認定者の数についてはさほど変わりはないが、給付費のほう大幅に減少しているということだが、平成 25 年度と比べると、特に要介護 1 以上の居宅給付費のほう下がっているが、昨年度も居宅から施設のほうにと答えているが、実際の詳しいところについてはまだ詰めた段階ではないが、こちらとして想定できているのが、認定者の数が変わらないのになぜ給付費が減っているのか

という問題でいくと、今、一番問題になっているのが、お守り申請ということで、介護認定を貰っていたらちょっと安心する、みたいな。実際は介護の給付を受けないが、いざ何かあった時に安心するというか、すぐ受けられるというイメージがあるようだが、実際介護給付を受ける場合は、もう 1 度認定を受けなおさないと、その時の状態でどれだけのサービスが受けられるかというのがあり、数は変わらないが減っている原因の 1 つとしては、そういうお守り申請で認定だけ貰っていて給付を利用していない人が、若干増えてきているのかと、一応、1 つの要因として挙げている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 理由の 1 つとしてお守り申請ということだったが、一応、申請したということは、それだけの介護を必要とする条件が揃っているということだろうから、老人がこれを利用しないからといってここにサービスをしないということはないかと。言われなくてもこちらからサービスに出向くということはあるのか。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） あくまでも申請主義なので、こちらから「あなたは要介護いくつを持っているので、サービスを受けてください」ということはない。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 292 頁、介護予防サービス計画について伺う。

委託料の中で介護予防サービス計画の委託料が 64 万 6,000 円あるが、かなり不用額がある。第 6 期の介護計画の委託料だと思うが、減った理由を伺う。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 介護予防サービス計画については、介護予防のケアプランになるので、その件数に対するいくらということになるが、不用額が出た分については、解答を保留させてもらう。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 特別会計の全般について伺う。介護保険事業で、今、施設が不足してどこも、特に都市部は大変な状況だと聞いているが、国のほうも包括的支援事業の中で居宅介護というのをかなり重点的に何かやろうとしているが、この予算書を見ると結構、在宅介護に関する経費が出ている。しかし成果報告書の中でちょっと気になるのは、41 頁の居宅サービスのところが「計画値を 21% 下回っている」ということだが、小値賀町もなるべくお年寄り自分の家で、住みなれた場所で、家庭・家族の暖かい雰囲気の中で過ごすのがいいと私は思うが、小値賀町もそれがなかなかうまくいかず、養寿園の増設とか考えているようだが、その辺の取り組みについて、今後の仕事としてどのような積極的なことを考えているのか。担当者に説明をお願いします。

委員長（土川重佳） 福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 委員の言うとおりの、国は施設から在宅へということを謳っているが、当町においてはなかなか、全国的なものと同じような物差しで測るのは難しいと

思っている。しかし、やはり高齢者にとって、自分の家で最後を迎えるというのは 1 つの理想かなと思っているので、その点については、うちとしても居宅介護のほうに力を入れていくというのは間違いないが、現在、地域包括ケアシステムの構築に向けて、地域包括支援センターとともに各自治体の、近隣の佐々町にもいい見本があるので、そういうところを参考にしながら当町に合った居宅介護の方針を定めていきたいと思っている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

しばらく休憩する。

1:26:31

— 休 憩 午 前 10 時 55 分 —

— 再 開 午 前 10 時 59 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

さっきの答弁の保留をお願いします。

福祉事務所長

福祉事務所長（植村敏彦） 先程の宮崎委員の質問に答える。

介護予防サービス計画策定の委託料についてだが、平成 25 年度までは社協のほうに介護予防のケアプランを全面的に委託していたが、先程言ったように地域包括支援センターの職員を増員しているの、自前でケアプランを立てられるようになったので、その分の不用額が発生している。

委員長（土川重佳） しばらく休憩する。

（担当課、入替）

— 休 憩 午 前 11 時 00 分 —

— 再 開 午 前 11 時 01 分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

渡船事業特別会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款をおって、ご質疑願う。

事項別明細書 221 頁から 231 頁。

第 1 款・渡船事業収入

横山委員

委員（横山弘藏） 渡船収入の旅客運賃収入。笛吹ー野崎島が前年度より何百人か増えています。この野崎ー笛吹関係の客の構成は、観光客が一番多いのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） 野崎航路の利用客の構成だが、委員が言うように観光客の割合が一番高い。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 旅客運賃の 1 節の貸切運賃 22 万 6,000 円。これは主にどういう方が貸切で利用しているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） はまゆうの貸切運賃だが、大島航路が年間に片道 4 回、往復 7 回。野崎航路が片道 1 回、往復 2 回のチャーター利用となっている。中身については、大島航路に関しては、地区関係行事によるチャーターがもっとも多い。野崎航路は音楽隊であるとかアイランドツーリズム協会の利用となっている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 同じ旅客運賃収入だが、六島航路が微増しているが、住民が少ない割には結構多いと思うが、これはやはり六島住民が利用しているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） 六島航路の若干の増加については、言うように住民は年を追うごとに減っているが、一方ではアイランドツーリズムというか、小金丸梅夫さんの活動によって訪れる方が最近増えているし、釣り客も若干利用している。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 大島も野崎も貸切運賃は前と変わらないか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） 貸切運賃の単価については従来から変わっていない。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 2 款・国庫支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 3 款・県支出金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 4 款・繰入金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 5 款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出に移る。

第 1 款・渡船事業費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 2 款・公債費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 3 款・予備費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） これから歳入歳出全般について、ご質疑願う。 今田委員

委員（今田光弘） 大変素朴な疑問で申し訳ないが、222 頁で郵便物の航送収入ということで野崎も入っているが、実際に委託料ということで野崎は入っていない。人が住んでいな

いということで。これについては特に問題があるということではないか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） 私も6月に異動してきて、今田議員と同じような疑問を持ち、担当に尋ねたが、書き方の問題はあるかと思うが、監査等でも指摘がないということで、集配受託収入という記載の仕方をしており、実際には、特にIT協会関連が多いが、貨物の運賃収入という内容になる。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 確認だが、渡船事業の中に上架施設使用料の不用額が発生している。昨年もあったが、昨年は事故があった時のために計上したということだったが、本年もこういった考えでいいのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） 上架施設の使用料に関しては、ほぼ見積もりどおりの予算執行になっている。14節の使用料及び賃借料の40万以上の不用額に関しては、代船の借上げで準備していた予算の執行残だ。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 全般的なことで尋ねるが、はまゆうが新しく建造することになっているが、今の下船はどのように考えているのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） 新船の建造後は、今の第3はまゆうについては売却したいと思っている。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） もしできることなら、町の資産として残して、誰か委託する人がいれば、観光船として利用する方法は考えていないのか。

委員長（土川重佳） 産業振興課理事

産業振興課理事（中村慶幸） 航路事業者としては、今のところ第3はまゆうの、今、委員が言うような代船利用は考えていない。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

（担当課、入替）

— 休憩 午前 11時17分 —

— 再開 午前 11時21分 —

委員長（土川重佳） 再開する。

簡易水道事業特別会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款をおって、ご質疑願う。

事項別明細書 207 頁より 213 頁。

第1款・事業収入

今田委員

委員（今田光弘） 成果報告書の45頁に水道の使用量の表が一番上にあるが、26年度の有収率が83%。これは当然、前年、前々年度から減っているが、83%という有収率というのはたぶん、全国的に見てもかなりひどい数字だと思うが、もちろん古くなって水漏れとか多いと思うが、それについての考えと、それからこれが来年度以降、どういう形に移行すると考えているか。あるいは早い時期にリプレイスしていくのかとか、その辺の全体的な考え方を伺う。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 有収率だが、26年度に関しては83.0%だった。それ以前、24年度で85.7%、26年度で86.8%だったが、26年度で下がってしまったということで、26年度は漏水箇所を調べて回ったが、分からなかったので有収率が下がったが、27年度に入ってからまた漏水箇所を調査した。その結果、笛吹地区の海岸の近くで大きな漏水箇所が分かったので、そこの修繕をしているので、27年度は86、87%ぐらいまではいくのではないかと考えている。この有収率が、じゃあ86%、87%で低いかということだが、10数%の漏水は今までの経過も踏まえてなかなか、そこを止めるのは難しいと考えている。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 大きい漏水箇所が発見されて良かったと思うが、ただ水道の場合、1箇所の大きな修理をしてしまうと、ほかの部分で圧力が高まって、そっちの漏水も起きるという可能性もあるので、あまり楽観できないと思う。全体的に古くなってきているということで、将来的にはどこかで切り替えないといけない。その辺の認識は持っていると思うが、一応、その確認を。あるいは、このまま本当にひどくなるまで継続するのか、あるいはどこかで思い切って替えていくのか。その辺の考えを聞かせてほしい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） ちょっと技術的な話になるが、以前は石綿管とかいうものが使われていたが、それはもうほとんど新しい管に切り替えている。あとは水道の水圧がかかる管に関しては、VP管とかHI管とかいう管を使うわけだが、現在はHI管といって、水圧に強い管を使っている。しかし一部において、以前のVP管というのも使用しているので、その敷設替えを考えているところだ。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 是非進めてもらいたいし、私事だが、うちも水圧が非常に低い状況なので、よろしく願います。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第4款・繰入金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第8款・諸収入 宮崎委員

委員（宮崎良保） 雑入で伺う。ここに建物災害共済金として中村脱塩施設とあって、48万8,678円計上されている。内容の説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 中村浄水場において、落雷による流量計の故障が生じた。その分に対するものだ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出に移る。

第1款・総務費 今田委員

委員（今田光弘） 212頁の委託料の中の六島の海水淡水化装置だが、これも26年で最後ということでもいいのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 言うとおおり、海水を使って飲み水にするということは終わる。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第3款・公債費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第4款・予備費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） これから歳入歳出全般について、ご質疑願う。 今田委員

委員（今田光弘） 野崎島の学塾村の中の水道だが、水質検査等をしているが、その辺の状況を聞かせて欲しい。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 水質は良いと考えている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

2:04:22

下水道事業特別会計歳入歳出決算について、歳入から順番に款をおって、ご質疑願う。

事項別明細書の259頁より267頁。

第1款・事業収入 横山委員

委員（横山弘藏） 下水道事業も、未済額も大したことなく順調に推移していると思うが、

今のところの接続率を見ると全体で約7割とあるが、もし100%が接続したとすれば、この使用料・手数料といったものはどのくらい上がるものか推測できればお願いします。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 約70%の接続率でこれだけだ。あと接続していないところが多い人が独居老人等の接続率が低いので、仮にその人たちが全部つないで100%となった場合、単純にその割合でかけて使用料が上がるかという、そうはいかないと考えている。なので、単純計算でいくと3,700万程度ということになるが、そこまではいかないと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） そういうことで、なかなか接続率が上がるのは難しいと思うが、広報とかおぢか新聞とかで、やっぱり接続するように指導は今後も続けていくのか。またしているのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） おぢか新聞で広報していて、今後も続けたい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（宮崎良保） 第4款・繰入金 横山委員

委員（横山弘藏） 繰入金だが、私は4年間浪人していたのでこの辺の流れがよくつかめていなくて申し訳ないが、補正予算によって200万からの繰入金が減額になっているが、これは何か説明を。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 前年度繰越金で精査した結果の減だった。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・諸収入

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出に移る。

第1款・総務費 横山委員

委員（横山弘藏） 5目・公共下水道管理費の7節・賃金。これのマンホールポンプ清掃賃金に不用額が12万5,500円出ている。ちょっと予算にも関係するが、余っているので尋ねる。この清掃員の方が、マンホールの清掃は大変仕事内容がとても厳しいようで、臭いとかが強烈で、作業服なんかも臭いが付いて1日の作業が終わったらどっと疲れが出るという話を聞いた。それで、「手当てはどうなっているの」と聞いたら、「普通の手当てと変わりません」と。これはここじゃないのか。今質問している内容で、どこか間違ってい

ば指摘をして欲しい。

(マイクなし「この質問は、どこですればいいのか」「清掃はどこか」など)

委員長(土川重佳) 建設課長

建設課長(蛭子晴市) マンホールポンプの清掃の件だが、いつもある仕事ではなく、期間が短いということで、道路人夫さんに頼んで4カ月に1回程度清掃をしてもらっている。その際には、議員が言うように皆が嫌がる仕事なので、いくらかの金額を足して支払いをしている。基本額に1,000円をプラスして払っている。それと清掃のためのカップ等は、当然、こちらで用意している。

委員長(土川重佳) 横山委員

委員(横山弘藏) いくらか高いということで安心したが、しかし作業員の話によると結構きつみたいなので、しっかりその辺の手当てについては、する人の立場になって予算を上げるようによろしく願います。

委員長(土川重佳) 建設課長

建設課長(蛭子晴市) 検討したいと思う。

委員長(土川重佳) ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第3款・公 債 費

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第4款・予 備 費

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 歳入歳出全般について、ご質疑願う。 宮崎委員

委員(宮崎良保) 成果表の45頁だが、公共部の下水道台帳システムについて伺う。昨年もこの質問はあったと思うが、昨年は長寿命化計画を立てて終末処理場の機械のリニューアルになるか分からない、長寿命の内容についてはまだ分かっていないという答弁があった。本年もやはりまだ長寿命化計画あるいは機械のリニューアル等の内容についても、まだ分かっていないのか伺う。

委員長(土川重佳) 建設課長

建設課長(蛭子晴市) 長寿命化の計画を作るための台帳整備を26年度から始めている。27年度もあと残り分の台帳整備を行い、それを元に長寿命化計画を作りたい。その際にリニューアルのことも謳うことになると考えている。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 分かった。27年度まで台帳整備ということで、期待をしている。ちょっと気になったのが、歳入の督促手数料で3,200円。唯一督促手数料という金額がここにあるが、この手数料を取った関係で、未収金がどのくらい改善したのか。

委員長(土川重佳) 建設課長

建設課長(蛭子晴市) 3,200円ということは、1回100円なので32回ということだ。対

象だが、宙で覚えてなくて申し訳ないが、22戸か24戸だったと思う。それで32回督促している。その結果、今度の決算書でも上がっているとおり滞納金額が1万3,330円と少なくなっただと考えている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） この滞納手数料の人たちは、ほぼ完済というか、払ってもらったのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） ほぼ払ってもらっているが、2人が徴収できていない。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 繰入金について尋ねる。やはり下水道事業は、一般会計からの繰入金相当額が付いていると思うが、この一般繰入金の状況は、今後どのような推移をしていくのか、見通しは。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 起債の償還だが、年々少しずつ下がっていくわけだ。だが、下水施設の老朽化が進んでいるので、その修繕ということで、今後はいくらかずつ多くなると見込んでいる。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 今後少なくなっていくのを期待していたが、むしろ一般会計繰入金は増えていく傾向にあるということか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 償還のほうは毎年1,000万とか1,500万とか下がっていくが、修繕料がなかなか見込めない。例で言うと、26年度で大浦地区のマンホールの修繕をしたが、1箇所1,100万という額がかかったので、今後、修繕がいくらかかるかによって大きく変わっていくと考えている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） こういうのも良く知らなくて大変申し訳ないが、その大浦地区の修繕費が1,100万かかったということだが、主にどういった修理でこういったお金が発生するのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 大浦のマンホールだが、浜津地区の下水をポンプアップして笛吹の浄化センターに送るため、大きなマンホールポンプだ。本体自体が老朽化して、本体自体をやり直したということで、大きな額になっている。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 下水道事業が始まって何年か、供用開始を始めて10年ぐらいになると思うが、そういったポンプが10年ぐらいしたら1,100万の取替えるお金が要するというのは、こういう事業では普通であるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） マンホール自体の製品が、通常のマンホールを使ったが、レジンマンホールといってもっと腐食に強いマンホールにしておけばこういうことがなかったが、その時点でそれだけの大きさのマンホールがなかったということで、やむなく通常のもので設置している。その後、腐食が進んでそれよりも上等というか腐食に耐えられる躯体に変えたということだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） その腐食の一番の原因はやっぱり塩害か。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 硫化水素ガスだ。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） こういう事業をする時に、そういったことは大体予測ができていたと思うが、その時にそういった備品がなかったということでこうなったと思うが、下水道事業は予算というか、結構かかるということで、厳しい中で進んでいったと思うが、腐食して1,100万余りの修繕費が要ると、こういうことを見越して、途中からもうちょっとそういうことに関心を持って見てメンテできなかったのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） 事業者及び県等とも協議して実施した事業なので、考慮したつもりでいる。

委員長（土川重佳） 今田委員

委員（今田光弘） 大浦以外で同じような状況のマンホールポンプはあるのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） そういうところはない。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 産建の委員会で各施設を視察して回ったが、前方の近浦のポンプ上の建物の壁がペンキが剥げて、このまま放っておくとまたすぐ腐れていくんじゃないかと指摘したが、その時、課長はすぐに対処するような返事をしたが、あのペンキは塗り替えたのか。

委員長（土川重佳） 建設課長

建設課長（蛭子晴市） すぐと答えたかどうかはちょっと……。だが、予算のある範囲で考えたいと思った。まだしていない。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

しばらく休憩する。

2:30:28

— 休 憩 午 前 11 時 59 分 —

(担当課、入替)

委員長(土川重佳) 再開する。

国民健康保険診療所歳入歳出決算について、歳入から順番に款をおって、ご質疑願う。
事項別明細書 239 頁から 251 頁。

第 1 款・診療収入

横山委員

委員(横山弘藏) 診療収入が前年度とするといくらか下がっているようだが、その主な要因について説明を。

委員長(土川重佳) 診療所事務長

診療所事務長(近藤 進) まず入院については、おかげさまで 26 年度は 25 年度と比べて入院患者数が減っている。レセプトというのがあり、保険請求をする件数だが、それで比較すると△の 76 件となっている。延べ人数で△の 775 人というふうに入院患者が減っている。外来収入についても、同じく外来患者数の減によるもので、何が原因かと考えてみると、平成 25 年に診療所で死亡診断書を書いたのが 48 名で、平成 26 年が 50 名が亡くなっており、ここ 2 年間で 100 名近くの診療所に来た人が亡くなっている。こういった自然減が一番の外来の収入が減ったそもそもの原因だと思っている。例えば 50 人来て月 1 回かかったとしても、述べ数でいくと 600 人となるので、自然減少に伴う外来収入の減と考えている。

委員長(土川重佳) 宮崎委員

委員(宮崎良保) 確認だが、昨年聞いた時には、外来も入院者数も減っているが、保険の料金が高くなっていると聞いた。その時には CT とか何とかの 1 つの単価が高くなったからどうのこうのという答弁だったが、今年は金額についても下がっているということなので、料率の改定はまだないかもしれないが、その辺の CT とかの高額な料率はどうなのか。

委員長(土川重佳) 診療所事務長

診療所事務長(近藤 進) 25 年度と 26 年度の 1 人当たりの単価を求めると、入院は 25 年度より 1 万 3,879 円増している。外来についても 1 人当たりの単価 344 円となっていて、1 人当たりの単価自体は変わっていないので、そういうことからすると、やはり患者数の減が一番の要因だと考えている。

委員長(土川重佳) ほかにないか。

(「質疑なし」と呼ぶ者あり)

委員長(土川重佳) 第 2 款・使用料及び手数料

宮崎委員

委員(宮崎良保) 診療収入も兼ね合いがあるが、診療収入で未済額が若干出ている。手数料で見ると督促料とか何とかの金額がない。督促を出して請求するということはしていないのか。

委員長(土川重佳) 診療所事務長

診療所事務長(近藤 進) 診療所の料金は私債権となっており、一応、督促料は取らな

いということにしている。毎月、未収の人に関しては未収のお知らせをしている。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第4款・繰入金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第5款・繰越金

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第6款・諸収入 横山委員

委員（横山弘藏） 3項の1目、この雑入の350万余りの内訳の説明を。

委員長（土川重佳） 診療所事務長

診療所事務長（近藤進） 細くなるが、まず衛生材料代、保険外の診療だが、オムツ代とか容器代とかいった料金の174万645円。それと今、研修医を行けいれているが、その受け入れている施設から負担金みたいなのを貰っていて、その分が153万1,940円。それと長崎大学の学生の実習生を受け入れている、その負担金として42万2,400円。その他として310円という内訳だ。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第7款・町債

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳出に移る。

第1款・総務費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第2款・医業費 松屋委員

委員（松屋治郎） 医業費の中で、医薬品・衛生材料費が昨年より大幅に減少している。その内容と、もう1つ、政府はジェネリック医薬品を80から90%にするよう努力しているみたいだが、当町ではジェネリック医薬品はどのぐらい使われているのか。

委員長（土川重佳） 診療所事務長

診療所事務長（近藤進） 医薬品については前年度から約900万減額となっているが、やはりこれも患者数の減少に伴い減ったと考えている。もう1点のジェネリックのほうだが、全体の医薬品に占める割合ということで毎回聞かれているので、本年度も。まず内服のほうで全体に占める割合が24.2%。外用薬が18.4%。注射が15.0%。トータルで21.8%という状況になっている。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） ジェネリックだが、昨年が数量で22.3%、金額で25.8%だったが、若干、下回っている。これもやっぱり患者数の減少に伴うものか。また、金額ベースの%も教えて欲しい。

委員長（土川重佳） 診療所事務長

診療所事務長（近藤 進） 金額ベースが全体で 23.0%となっている。前年度より 0.5 ポイントほど占める割合が減っているが、もちろん減っているのが金額ベースもちょっと減っているということになるが、その主な要因としても、もちろんそれを使っていた患者が亡くなったりとかいうケースもあろうと思うが、ただ、詳しい内容がはっきり分からない。なので、前年度からしても全体の、ジェネリック委託品が前年度は 159 品目だったが、今年度は 153 品目ということで、全部で 6 品目ぐらい下がっている。そのような状況で、減っている理由と聞かれても、なかなか、的確な答えができないのが現状で、その中でやはり、ちょっと落ち込みがあるという返答になるが、大変申し訳ないと思うが、患者の減少もあるとは考えている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 全国的にも 80% ぐらいの使用がある。その中で小値賀が 20 何%ということで、普及しない原因というのは大体予測が付くのか。どこら辺でこんなに普及しないのか。というのは、これだけいろいろな問題で、財政も厳しい、滞納金もよけいある中で、ジェネリックの使用が伸びないとはどういうことが考えられるのか。

委員長（土川重佳） 診療所事務長

診療所事務長（近藤 進） 大変難しい質問だが、やはり薬を出すのはやはり、患者だったり医師の判断だったりということの方が大きいと思う。患者ももしかしたら、医者に対して「薬が高いのでジェネリックに変えてください」と言えない人もいるのかもしれないし、ただ、医師のほうもある程度はジェネリック医薬品の情報も入っていて、ジェネリック医薬品も良い点と悪い点があると思う。薬の成分自体は全然、新薬と変わらないと言われているが、やはり製造過程段階において違う部分があるので、その辺の状況であったり、例えば新薬の場合は数多くの副作用とかのデータを取って、安心して使える薬として承認できているが、ジェネリックの場合は、そうした副作用とかに関しての資料というのがあまりないということもあり、医者のほうもなかなか、安心して使えるかといったらちょっと疑問が付く点もあるようだ。ただ、やはり少しでも負担金が下がるように、患者への周知等も足りないのかとも思っているんで、その辺は努力したい。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 3 款・公 債 費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 第 4 款・予 備 費

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 歳入歳出全般について、ご質疑願う。 宮崎委員

委員（宮崎良保） 全体的なことでは向うが、本年度の予算の中で執行率が 93.5%ということで、各会計では最低の予算執行になっている。患者が減ったということもあるが、もう

ちょっとしたら 80%台になってしまうので、かなり状況的に見れば厳しい予算を、今後、せねばいけないのかなと思うが、この数値はあまり低いということで、予算執行率についてどのように考えているのか。

委員長（土川重佳） 診療所事務長

診療所事務長（近藤 進） 不用額が多額にある分についてはやはり医薬品の部分で、1,400万ほど不用額として上がっており、かなり大きくなっており、薬の発注に関してはなかなか難しいところがあって、どこまで残していいものかというところがあるので、いつも、昨年も 900 万ほど残して答弁をしたかと思うが、適正な不用額をできるように努力をしたいと思うので、ご了承願いたい。申し訳ない。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 総務費で昨年よりも 1 人、人員が減ったにも関わらず、人件費関係ではだいぶ上がっている。1 名減で人件費がこんなに上がるのか、説明を。

委員長（土川重佳） 診療所事務長

診療所事務長（近藤 進） 決算書でいくと 1 名の減となっているが、25 年度は医師が 2 名体制になるのが時期がずれていて、大住元先生が辞めた後に田中慶太先生が 5 月、所長がその後、6 月だったと思う。たぶん、医者給料がかなりあるので、その分ではないかと思う。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） 質疑なしと認める。

これで質疑を終わる。

しばらく休憩する。

2:57:39

（執行部、退室）

— 休 憩 午 後 1 時 55 分 —

— 再 開 午 後 1 時 56 分 —

（委員会室には、議会側関係のみ入室）

委員長（土川重佳） 再開する。

特別会計全般に亘ってご意見を伺い、整理をしたいと思う。

どなたでも結構なのでご意見を。

今田委員

委員（今田光弘） やはり不用額が、もちろん仕方がない部分もあるが、補正予算で補正していなければいけなかったのではないかというところが、僕としては気にかかるところだ。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 私はこの特別会計については、昨年度と比べてどうなったのか、あるいは全体の予算執行率がどうなったのかというのを主に意識しながら聞いてきた。昨年の中のことに比べれば国保会計等がグレイゾーンと思われるのがどうなったのかというのが、

まだ何ともあやふやな答えであったし、簡易水道でもはっきりした返答がなかったように思われる。この辺を今後どう考えているのか、推移を見守っていきたい。各会計の予算の執行率についてはほぼ 98%前後で推移して健全化と思うが、今、国保診療所特別会計は執行率が 93.5%とかなり低い。その原因は不用額 2,693 万 5,704 円とかなり多い。医業費関係だろうが。先程、今田さんが言ったように、これだけの変更があるならば補正でも出してほしかったと思う。やはり 93.5%の予算執行率というのは目立つ。我々も現職の時には 15%以内に納めろということだったが、我々の税金を使った予算をあやふやにするということは、より厳格にしくちやいけけないという気がするので、今後予算執行の兼ね合いの中で推移を見守りたい。全体的には認定したい。

委員長（土川重佳） 横山委員

委員（横山弘藏） 特別会計は、一般会計からの繰入金がないとなかなか採算が取れない事業ばかりだが、今度感じたのは下水道事業で、私は「減っていくだろう」という答えを望んだが、ああいった多額の修理費や維持管理費がかかる。そして答弁を聞いていて、非常に甘い見通しという感じを受けた。そういった意味においては今後、執行部にはなるべく一般財源からの繰り入れを少なくしていくように努力してほしい。やはり、これが民間ならかなり厳しい運営を強いられていると思うので、その辺の思いは持ってほしいと思う。それから診療所も、ただ単に高齢者が亡くなったり人口減少で診療収入が減っていることだが、これも慎重に運営をしていかないと、やはり一般財源からの繰り入れが増えてくるので、診療所の経営自体厳しいものになってくるので、ジェネリックの問題とか医療器具の問題とか、よく審議会も開いて十分に今後の運営を協議してほしい。でないと診療所は将来建て替えの話が出ている。そうするとまた起債を、町債が増えると思うので、そこまで考えて取り組んでほしいと、そういうところを執行部に期待する。

委員長（土川重佳） 末永委員

委員（末永一朗） 皆さん、言い方、見方は大体同じだと思うが、やはり人口も減ってくれば税収も少なくなるし、依存財源に頼るほかはないと思うが、年々人口も減ってくれば地方交付税も減ってくるし、そうすると今度は保険税の滞納者も増えてくる。2度打撃になれば、結局、行政運営もなかなか厳しくなると思うので、そのところを注意しながら職員もよく頑張ってもらいたいと思っている。

委員長（土川重佳） 松屋委員

委員（松屋治郎） 今言う人口減少で、町の財政も今後は厳しくなっていくと思われる中で、やはりジェネリック医薬品なんかに向けての普及の努力というのが見られない。日本全国で 80%から 90%あるというのに 20 何%、それは薬が悪いとか良いとかという問題ではないと思う。やっぱりこれの普及啓蒙活動を小値賀でも広めていかないといけないと思う。

委員長（土川重佳） 宮崎委員

委員（宮崎良保） 訂正をお願いします。先程、私はうちの、もとの農協の時に執行率が 15%

以内とか言ったが、5%以内なので、訂正する。

委員長（土川重佳） ほかにないか。

（「質疑なし」と呼ぶ者あり）

委員長（土川重佳） それでは、議案第 53 号、平成 26 年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について、採決をする。

この表決は、起立によって行う。

議案第 53 号、平成 26 年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定について、原案のとおり認定することに賛成の方は起立願う。

（賛成者起立）

委員長（土川重佳） 全員起立。

したがって、議案第 53 号、平成 26 年度小値賀町各会計歳入歳出決算認定は、原案のとおり認定することに決定した。

以上で、本委員会に付託された案件の審査は全部終了した。

長時間、お疲れ様であった。

以上で、決算特別委員会を終了する。

どうもありがとうございました。

— 午 後 2 時 05 分 閉 会 —